



2018年3月期(平成29年度)  
第1四半期決算説明資料

2017年8月8日

**ダイキン工業株式会社**

# ■第1四半期決算概要



過去最高の売上高・利益を更新。

空調事業で、高付加価値商品の積極投入により、日本・米州・中国など主要地域で販売を拡大。化学事業で、半導体や自動車など好調な市場向けに販売を拡大。

原材料市況の高騰影響を受けるなか、販売拡大に加え、固定費削減などトータルコストダウンを推進したことで、天候の追い風を受けた昨年を上回り、営業増益を達成。

(億円)	1Q実績(4-6月)			2017年度計画			
	2016年度	2017年度	前年比	上期	前年比	年間	前年比
<b>売上高</b>	5,355	<b>5,866</b>	<b>110%</b>	11,300	108%	21,900	107%
<b>営業利益</b>	712	<b>744</b>	<b>105%</b>	1,430	102%	2,430	105%
(利益率)	(13.3%)	(12.7%)		(12.7%)		(11.1%)	
<b>経常利益</b>	705	<b>750</b>	<b>106%</b>	1,430	102%	2,420	105%
(利益率)	(13.2%)	(12.8%)		(12.7%)		(11.1%)	
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	491	<b>510</b>	<b>104%</b>	970	101%	1,600	104%
(利益率)	(9.2%)	(8.7%)		(8.6%)		(7.3%)	

USドル/円

¥108

¥111

¥108

ユーロ/円

¥122

¥122

¥118

中国元/円

¥16.5

¥16.2

¥16.0

○為替影響(対前年)

売上高: +44億円

営業利益: ▲20億円

○営業利益増減分析(1Q 対前年度)

【内訳】 為替影響

拡販・売価

コストダウン・固定費ほか

+33億円

▲20億円

+123億円

▲70億円

# ■事業セグメント別実績



(億円)		1Q実績(4-6月)		前年比	2017年度計画	前年比
		2016年度	2017年度			
全社	売上高	5,355	5,866	110%	21,900	107%
	営業利益 (利益率)	712 (13.3%)	744 (12.7%)	105%	2,430 (11.1%)	105%
空調	売上高	4,915	5,354	109%	19,720	107%
	営業利益 (利益率)	685 (13.9%)	694 (13.0%)	101%	2,190 (11.1%)	105%
化学	売上高	350	414	118%	1,650	105%
	営業利益 (利益率)	23 (6.7%)	46 (11.0%)	196%	200 (12.1%)	109%
その他	売上高	90	98	109%	530	102%
	営業利益 (利益率)	3 (3.0%)	5 (4.9%)	177%	40 (7.5%)	107%

# ■地域別売上高の推移-空調事業



※冷凍・冷蔵機事業、フィルタ事業含む

※パーセンテージは前年比

(億円)	2013年度1Q		2014年度1Q		2015年度1Q		2016年度1Q		2017年度1Q		2017年度計画	
	日本	99%	999	98%	980	97%	947	104%	989	106%	1,051	103%
ヨーロッパ	134%	594	103%	612	94%	576	121%	698	103%	717	110%	2,750
中国	139%	833	114%	953	108%	1,031	89%	918	115%	1,057	108%	3,200
米州	449%	1,071	109%	1,166	118%	1,381	97%	1,337	115%	1,540	110%	5,650
アジア	156%	510	112%	572	115%	656	109%	714	100%	711	110%	2,560
オセアニア	130%	96	99%	95	108%	102	117%	120	122%	147	101%	520
中近東	157%	133	70%	93	129%	120	102%	122	94%	115	103%	510
アフリカ	164%	25	86%	22	99%	22	75%	16	103%	17	92%	80
計	153%	4,262	105%	4,493	108%	4,835	102%	4,915	109%	5,354	107%	19,720
海外売上高比	77%		78%		80%		80%		80%		77%	
USDル/円	¥99		¥102		¥121		¥108		¥111		¥108	
ユーロ/円	¥129		¥140		¥134		¥122		¥122		¥118	
中国元/円	¥16.1		¥16.4		¥19.6		¥16.5		¥16.2		¥16.0	

# ■地域別売上高の推移-化学事業



※パーセンテージは前年比

(億円)	2013年度1Q		2014年度1Q		2015年度1Q		2016年度1Q		2017年度1Q		2017年度計画	
	日本	91%	89	99%	87	106%	93	97%	90	119%	107	106%
米州	116%	83	97%	81	122%	98	84%	83	129%	107	109%	460
中国	153%	76	85%	65	114%	74	108%	80	110%	88	101%	315
アジア	116%	26	121%	32	125%	40	90%	36	140%	50	110%	195
ヨーロッパ	110%	31	123%	37	149%	56	106%	59	100%	59	103%	235
その他	168%	3	46%	2	105%	2	133%	2	132%	3	—	—
計	113%	308	99%	304	119%	362	97%	350	118%	414	105%	1,650
海外売上高比		72%		71%		74%		74%		74%		73%
USDル/円		¥99		¥102		¥121		¥108		¥111		¥108
ユーロ/円		¥129		¥140		¥134		¥122		¥122		¥118
中国元/円		¥16.1		¥16.4		¥19.6		¥16.5		¥16.2		¥16.0

# ■部門別業績の概況-空調事業



## 日本

住宅用の業界需要は、天候に恵まれたこともあり、省エネ商品への買い替えが進み、前年を上回った。

業務用の業界需要は、設備投資と建築着工の回復を受け、堅調に推移。

当社は、住宅用・業務用ともに販売を拡大し、過去最高の売上高・営業利益を達成。

住宅用は、高付加価値商品の販売が伸長。業務用は、販路の開拓・強化を推進、店舗・オフィス用エアコン『FIVE STAR ZEAS』を中心に拡販し、シェアアップ。

アプライドは、首都圏での販売強化により大きく販売を伸ばした。

<製品別販売状況(台数ベース)>

(前年比)		1Q 実績
住宅用	業界	110%
	当社	112%
業務用	業界	105%
	当社	112%
アプライド	業界	105%
	当社	125%

※アプライドは売上高ベース

# ■ 部門別業績の概況-空調事業



## 米州

底堅い個人消費と設備投資を背景に市場が堅調に推移するなか、引き続き販売網強化を推進、売上高は前年を大きく上回った。

グッドマン社新工場「ダイキン・テキサス・テクノロジーパーク」を開所(5月24日)し、現地生産・開発体制を強化。

- 住宅用ユニタリーは、自前販売店の拡大、営業人員の増強により、販売が好調に推移。
- ダクトレスは、北東部での販売体制強化などにより拡販。特にVRVは、住宅用ハイエンド市場に注力し、販売を大きく伸ばした。
- アプライドは、高付加価値商品であるエアハンドリングユニットを拡販したことに加え、アフターサービス事業を拡大。

<製品別販売状況(台数ベース)>

(前年比)	1Q 実績
住宅用ユニタリー	116%
RA、SKY	107%
VRV	140%
アプライド	112%

※SKY: 中小型パッケージエアコン

※VRV: ビル用マルチエアコン

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

# ■ 部門別業績の概況-空調事業



## 中国

経済成長が安定期に入るなか、堅調な個人消費・民間需要を取り込むため、引き続き小売・街売を強化。全地域・全市場で販売を大きく拡大。原材料価格高騰の影響を受けたが、部品の内作化や生産性向上などコストダウンを推進し、高収益を維持。

- 住宅用市場は、独自専売店「プロショップ」の強みである提案力・工事力を生かし、顧客に様々な生活スタイルを提案する住宅用マルチエアコン「ニューライフマルチシリーズ」を中心に中高級住宅市場で拡販。
- 業務用市場は、省エネ性・設計自由度の高いVRVの設計事務所やビルオーナーへのPR・スペックインを強化。ユーザーへ独自のシステム提案を行い、ビルから一般店舗、新築から更新まで幅広くニーズを取り込み、販売を伸ばした。
- アプライド市場では、商品ラインアップの拡充、サービス事業の強化により、きめ細かな営業活動を展開し、中小物件を中心に販売を拡大。

<市場別販売状況[売上高(現地通貨)ベース]>

(前年比)	1Q 実績
住宅用※	116%
業務用	113%
アプライド	112%

※住宅用マルチエアコン含む



# ■ 部門別業績の概況-空調事業



## 欧州・中近東・アフリカ

天候不順や中近東の政情不安の影響を受けたが、業務用の販売を伸ばし、地域全体では前年を上回った。

- 住宅用は、スペイン・中欧で販売を伸ばしたが、前年が好調であったイタリアの天候不順による反動減が大きく、全体では前年を下回った。
- 業務用は、各国で販売店訪問や物件のフォローアップを推進、スペイン・イギリスを中心に全域でSKYの販売を伸ばした。
- 暖房事業は、高効率壁掛けボイラーが好調に推移し、燃焼式の販売を拡大。
- 冷凍・冷蔵機事業は、ザノッティ社と販売網・商品ラインアップを相互活用し、統合シナジーの最大化を図る。

<製品別販売状況(台数ベース)>

(前年比)		1Q 実績
住宅用(RA)		92%
業務用	SKY	108%
	VRV	98%
暖房		109%
アプライド		104%

※SKY: 中小型パッケージエアコン

※VRV: ビル用マルチエアコン

※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

# ■ 部門別業績の概況-空調事業



## アジア・オセアニア

天候不順の影響を大きく受けるなか、前年を上回る売上高を確保。各国での地方都市への販売網の展開や、サービス体制の強化、営業人員の拡充を引き続き推進。

- 住宅用は、ベトナム・タイ・インドネシア・マレーシアで、前年に需要が急拡大した反動影響を受け、販売が大幅に減少。インドでは、地方都市の需要拡大を捉え、大きく拡販。
- 業務用は、スペックイン活動の強化、販売店の育成に注力。ベトナム・タイを中心に各国で販売を拡大。オーストラリアでも、高級住宅向けVRVの販売を大きく伸ばした。

■ 売上高上位国の前年比(現地通貨ベース)  
ベトナム:92% インド:125% オーストラリア:122%  
マレーシア:78% タイ:90% インドネシア:93%

<製品別販売状況(台数ベース)>

		1Q 実績
(前年比)		
住宅用(RA)		92%
業務用	SKY	108%
	VRV	124%
アプライド		115%

※SKY:中小型パッケージエアコン  
※VRV:ビル用マルチエアコン  
※アプライドは売上高(現地通貨)ベース

## ■ 部門別業績の概況-化学事業



原材料市況悪化の影響を受けるなか、好調な半導体・自動車市場での拡販やコストダウン、売価施策により増収増益を達成。

- フルオロカーボンガスは、米州におけるアフターサービス向けでの拡販、日本・欧州での売価施策の展開により、販売を大きく伸ばした。
- 樹脂・ゴム
  - ーフッ素樹脂は、日本・中国・米州で半導体関連の需要増を取り込んだことに加え、中国で電線市場向けに拡販し、前年を大きく上回った。
  - ーフッ素ゴムは、日本・中国・アジアを中心に世界各地域で自動車向けの販売が好調に推移。
- 化成品は、撥水撥油剤で販売を伸ばしたが、表面防汚コーティング剤『オプツール』の販売減少の影響を受け、全体では前年を下回った。

<製品別販売状況(売上高ベース)>

(前年比)	1Q 実績
全フッ素化学品	118%
ガス	147%
樹脂ゴム	128%
化成品ほか	96%

## ■ 部門別業績の概況-フィルタ事業



エアフィルタは、米国で、アメリカンエアフィルタ社・フランダース社双方の品揃えを生かし、住宅用市場・業務用ハイエンド市場で拡販。共同購買、工場統合など、合理化の取組みも推進。

日本・中国・欧州でも、製薬・半導体工場向けなど成長分野で販売を伸ばした。

P&I※では、アフターサービス事業を拡大するとともに、コストダウンを推進。事業体質の改善に努めた。

※P&I・・・ガスタービン、大規模プラント等の業務用集塵システム

# ダイキン工業株式会社

## 予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。